

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
31324	漁港施設維持管理事業	都市整備部	空港港湾課	2
31324	愛媛県漁港協会会費	都市整備部	空港港湾課	3
31324	漁港整備市単独事業	都市整備部	空港港湾課	4
31324	水産基盤ストックマネジメント事業	都市整備部	空港港湾課	5
31324	神ノ浦漁港海岸高潮対策事業	都市整備部	空港港湾課	6
31324	海岸堤防等老朽化対策事業	都市整備部	空港港湾課	7
32214	渡船運行事業	都市整備部	空港港湾課	8
33222	空港周辺環境整備事業	都市整備部	空港港湾課	9
33222	空港周辺対策管理事業	都市整備部	空港港湾課	10
33222	住宅騒音防止対策事業	都市整備部	空港港湾課	11
33222	共同利用施設管理事業	都市整備部	空港港湾課	12
33222	空調調和機器稼働費助成事業補助金	都市整備部	空港港湾課	13
33222	松山空港国直轄整備事業地元負担金	都市整備部	空港港湾課	14
33223	港湾施設維持管理事業	都市整備部	空港港湾課	15
33223	港湾施設使用料徴収事業	都市整備部	空港港湾課	16
33223	港湾施設環境整備事業	都市整備部	空港港湾課	17
33223	市営上屋維持管理事業	都市整備部	空港港湾課	18
33223	松山港国直轄整備事業地元負担金	都市整備部	空港港湾課	19
33223	県営・港湾海岸整備事業地元負担金	都市整備部	空港港湾課	20
62132	瀬戸内・海の路ネットワーク推進事業	都市整備部	空港港湾課	21

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5248
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁港施設維持管理事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31324							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		—	—	—	—	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	生産基盤と集落環境の整備	根拠法令	松山市漁港管理条例第2条				
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備		松山市海岸占用料等徴収条例第1条				
目的・背景	漁港漁場整備法に基づき漁港施設の管理者として、適切に維持管理を行っている。漁港の維持管理を適切に行うことにより、安全で安心な施設として漁業活動の際に利用が可能となり、漁業生産の向上につなげる。						
対象・内容	松山市が管理する漁港の各施設及び海岸保全施設について、管理するとともに、補修の必要な箇所があれば補修工事を行う。また、同施設の占・使用許可申請が提出された場合、審査を行った後に許可書を発行し、料金を収納する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		23,840
予算 (千円)	事業費計	40,720	38,548	40,868			需用費		6,801
	国費・県費	1,380	1,417	1,379			委託料		5,240
	市債	0	0	0					
	その他	4,364	6,358	6,152					
	一般財源	34,976	30,773	33,337					
決算 (千円)	事業費計	39,513	37,643			主な 取組 内容 【R4】	・二神漁港浮桟橋昇降機補修工事(瀬戸内建設㈱)をはじめとした工事を行った。 ・地元で漁港施設等の管理について業務を委託した。 ・漁港施設の保守点検(フジケンエンジニアリング㈱)を行った。		
	国費・県費	598	1,296						
	市債	0	0						
	その他	6,329	6,070						
	一般財源	32,586	30,277						
人役	正規職員	0.7	0.4	0.6		特記 事項			
	その他								
	合計	0.7	0.4	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	毎年1回の巡回点検を実施		目標	24	24	24	24	市管理24漁港の年間適正点検を実施	
			実績	24	24				
	現状維持	漁港	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	管理瑕疵による事故件数		目標	0	0	0	0	管理不足による事故発生件数0件	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正な点検や維持管理を行えたため。							
課題	老朽化に伴う維持管理費が増加傾向であること					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	施設の対応年数が近づき修繕が必要な箇所が増加しているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5248
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愛媛県漁港協会会費	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31324							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		—	—	—	—	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	生産基盤と集落環境の整備	根拠法令					
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備						
目的・背景	本市の漁港、漁場の総合的整備と合理的利用の促進を図るとともに、漁業者の生活安定と文化の向上に寄与することを目的として、愛媛県漁港漁場協会の会員となっている。						
対象・内容	該当年度の事業費に応じて愛媛県漁港漁場協会が算定する協会費を支出する。 会費を基として、協会が開催する担当者研修会に出席することにより、職員のレベルアップにつなげる。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	負担金		1,896
予算 (千円)	事業費計	1,190	1,900	1,271					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,190	1,900	1,271					
決算 (千円)	事業費計	1,158	1,896			主な 取組 内容 【R4】	・会員となっている愛媛県漁港漁場協会に 会費を支出するとともに、協会が開催する 担当職員研修会へ出席した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	1,158	1,896						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	協会主催の各種研修や研究を通し、職員のレベルアップを図る。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	技術研修参加回数		目標	3	3	3	3	担当者の技術力向上が図れた。	
			実績	3	3				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	研修などで得た知識を今後の積算や維持管理など、事業展開に活用するため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	担当職員のスキルアップが図れるため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5248
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁港整備市単独事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31324							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		—	—	—	—	
主な取組	生産基盤と集落環境の整備		根拠法令				
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備						
目的・背景	国庫補助等の事業では採択されない小規模な改修工事を行うことにより、漁港機能を保つとともに利便性を向上させる。						
対象・内容	漁港施設や海岸保全施設について、改良の必要性の緊急度が高いものから整備を行う。そのための、調査、設計委託及び工事を発注する。現在は、饒(粟井)漁港や安居島漁港の波止設置工事を継続して施工している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		2,350
予算 (千円)	事業費計	6,391	7,356	11,817			需用費	83	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	6,391	7,356	11,817		旅費	42		
決算 (千円)	事業費計	6,003	2,475				主な 取組 内容 【R4】	・安居島漁港波止設置工事を行った。	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	6,003	2,475						
人役	正規職員	0.2	0.5	0.4		特記 事項	・当初予算のうち、工事請負費4,650千円を翌年度へ繰り越した。		
	その他								
	合計	0.2	0.5	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事発注件数		目標	1	1	1	1	予定通りに発注できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	漁港	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	年度内完成数		目標	1	1	1	1	組合協議において水産植物採捕後に工事着手要望があり繰越となったため。	
			実績	1	0				
	現状維持	漁港	達成率	100.0%	0.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	令和4年度の安居島の波止設置工事について、地元要望にて繰越となったものの、令和5年度の早期完成が見込まれるため。							
課題	なし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も、補修を必要とする漁港について改修工事を行い、漁港機能を確保していく必要があるため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5248
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産基盤ストックマネジメント事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31324							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		○	－	○	－	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	生産基盤と集落環境の整備	根拠法令	機能保全計画				
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備						
目的・背景	殆どの漁港施設が、整備後30・40年経過しており、老朽化とともに更新を必要とする施設が増加している。そのため、管理を体系的に捉えて計画的に取り組むことにより、大規模な補修工事を要する施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化・縮減につなげる。						
対象・内容	利用漁船の実隻数が50程度以上、または登録漁船隻数が50程度以上の漁港の施設(外郭施設、係留施設等)について、漁港施設機能保全計画に基づき施設の機能保全(延命化)工事や調査、設計委託を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		113,992
予算 (千円)	事業費計	118,196	217,217	195,589			委託料		8,165
	国費・県費	53,398	129,896	131,594					
	市債	40,200	84,700	62,400					
	その他	0	0	0					
	一般財源	24,598	2,621	1,595					
決算 (千円)	事業費計	71,124	122,157			主な取組 内容 【R4】	・饒(饒)漁港防波堤防食工事等を行った。 ・神ノ浦漁港大防波堤補修工事に伴う測量設計業務等を委託した。		
	国費・県費	30,122	78,952						
	市債	25,500	41,200						
	その他	0	0						
	一般財源	15,502	2,005						
人役	正規職員	0.5	0.7	0.7		特記事項	・当初予算のうち、工事請負費70,278千円、委託料4,811千円を翌年度へ繰り越した。		
	その他								
	合計	0.5	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事発注件数		目標	6	14	18	23	翌年度へ繰り越したものはあるものの、ほぼ予定通りに発注できた。	
			実績	4	9				
	累計で増	件	達成率	66.7%	50.0%				
成果指標	年度内完成数		目標	6	8	4	5	フェリー発着に関連するため、関係機関との協議に日数を要した。	
			実績	2	4				
	現状維持	件	達成率	33.3%	50.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	適切に施設の機能保全(延命化)を図れたため。							
課題	機能保全計画に基づき各漁港施設の方針を検討する。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	漁港ごとの状況に応じて施工箇所をその都度判断しているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5247
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	神ノ浦漁港海岸高潮対策事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31324							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		—	—	—	—	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	生産基盤と集落環境の整備	根拠法令					
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備						
目的・背景	神ノ浦漁港海岸周辺には人家が密集しており、平成3年9月に発生した台風19号に続き、平成16年9月に発生した台風18号でも浸水の被害に見舞われるなどした。そのため、台風や季節風浪による越波を防止するための工事を施すことにより、住民の生活基盤の安定を図る。						
対象・内容	神浦地区の防護面積は5.43ha、防護人口は110人であり、台風や季節風浪による越波を防止するため、離岸堤162.3mの新設工事、護岸約111.2mの改良工事を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	171,363	194,451	0	主な経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費	65,288		
	国費・県費	114,550	130,009	0					
	市債	52,400	62,300	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	4,413	2,142	0					
決算 (千円)	事業費計	119,668	65,541		主な取組 内容 【R4】	・護岸改良工事(L=111.2m)を行った。			
	国費・県費	80,036	43,744						
	市債	37,200	19,700						
	その他	0	0						
	一般財源	2,432	2,097						
人役	正規職員	0.5	0.4		特記 事項	・事業完了により、当初の計画よりも工事費が減額となったため。			
	その他								
	合計	0.5	0.4	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	施工施設		目標	1	1	—	—	予定通りに発注できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	施設	達成率	100.0%	100.0%				
成果 指標	施工完了施設		目標	1	1	—	—	発注もスムーズに行え、達成することができた。	
			実績	1	1				
	現状維持	施設	達成率	100.0%	100.0%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業計画に基づき施設の長寿命化が図れたため。							
課題	なし					今後の 方向性	終期到来による廃止	左記の 理由	事業が完了したため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	事業担当	連絡先	994-5247
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	海岸堤防等老朽化対策事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31324								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			—	—	○	—	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	生産基盤と集落環境の整備		根拠法令	漁港海岸長寿命化計画				
取組みの柱	漁港、漁村集落環境の整備							
目的・背景	海岸保全施設の中には経年により、老朽化とともに機能低下が進行しているものが増加している。そのため、予防保全型の維持管理を導入して必要な防護機能を確保することにより、施設の長寿命化を図りつつ、海岸堤防等の老朽化対策を計画的に進める。							
対象・内容	長寿命化計画に基づいて適切に管理されており、老朽化対策を必要とする海岸保全施設に対する事業であり、総事業費が25,000千円以上であることが国庫補助の採択基準である。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	委託料		13,002
予算 (千円)	事業費計	8,000	68,399	297,326					
	国費・県費	5,360	45,795	174,906					
	市債	2,600	22,500	122,000					
	その他	0	0	0					
	一般財源	40	104	420					
決算 (千円)	事業費計	1,650	13,025			主な取組 内容 【R4】	・津和地漁港海岸護岸補修工事に伴う測量設計業務を委託した。		
	国費・県費	1,105	8,711						
	市債	600	4,200						
	その他	0	0						
	一般財源	-55	114						
人役	正規職員	0.2	0.4	0.9		特記事項	・当初予算のうち、工事請負費55,348千円を翌年度へ繰り越した。		
	その他								
	合計	0.2	0.4	0.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	工事発注件数		目標	1	2	4	5	予定通りに発注できた。
			実績	1	2			
	累計で増	件	達成率	100.0%	100.0%			
成果 指標	年度内完成数		目標	1	1	2	1	スムーズに発注し完了した。
			実績	0	1			
	現状維持	件	達成率	0.0%	100.0%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	海岸保全施設の防護施設機能を確保し、施設の長寿命化が図れたため。						
課題	漁港海岸長寿命化計画に基づき各海岸の方針を検討する。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	原則、漁港海岸長寿命化計画に基づき施工を行うため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	951-2149
------	-------	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	渡船運行事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32214							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—	—	—	
施策	観光産業の振興		—	—	—	—	
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	道路法第42条				
取組みの柱	三津浜地区の観光拠点化						
目的・背景	市道高浜2号線の一部であり、生活道路としての役割を果たすため、年中無休・無料で港山地区と三津地区間の約80mを運航している。文明年間(1469年)伊予守河野通春が湊山(みなとやま)城主であった時に、食糧の調達等に船を往来させたのが始まりだとも言われ、松山城主となった加藤嘉明が三津を水軍の根拠地と定め(1603年)、ここに御船場(おふなば)を置き、御船手(おふなて)を配置(1635年)してからは、その統括の下で運航されていた。その後、明治4年に廃藩置県に伴い県営を経て、三津浜町が運航していたが昭和15年に三津浜町との合併により松山市が運航している。						
対象・内容	対象:三津及び高浜地区の住民をはじめ、本市を訪れる観光客を含む年間約4万人の乗降客 【運航時間】 午前7時から午後7時 随時運航、年中無休(荒天などにより運休する場合あり) 【料金】 無料 【アクセス】 伊予鉄港山駅から徒歩2分、三津駅から徒歩15分 渡船(主船「こぶかり丸」、予備船「すさき丸」)の定期的かつ安全な運航を確保するため、運航業務の委託や船舶のドック・修繕を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】			会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	渡船費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	三津の渡し運航業務委託料	16,127		
予算 (千円)	事業費計	19,155	19,267	19,002			渡船の修繕料	1,339		
	国費・県費	0	0	0			渡船の陸上保管料	500		
	市債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	19,155	19,267	19,002						
決算 (千円)	事業費計	18,926	18,709			主な 取組 内容 【R4】	・運航業務の委託(石崎汽船(株)) ・渡船のドックや修繕等			
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	9	0							
	一般財源	18,917	18,709							
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項				
	その他	0.1	0.1	0.1						
	合計	0.4	0.4	0.4						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	渡船の修繕等		目標	2	2	2	2	ドックや修繕を適宜に実施することで、安全運航を図ることができた。	
			実績	2	2				
	現状維持	隻	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	事故発生件数		目標	0	0	0	0	安全運航を図ることで、事故発生を抑えることができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	渡船の修繕等を適宜実施すると共に、運航業務及び利用者の乗降補助等業務を委託により適切に実施することにより、安全・安心な運航を図ることができた。 また、テレビや雑誌などの多くのマスメディアにも取り上げられ、本市ならではの独自性のある事業として、公共交通機関としてのみならず、貴重な観光資源としても貢献できている。							
課題	渡船の修繕費用が増加している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市道の一部として、渡船の安全・安心な運航を維持していくため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	空港周辺環境整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
33222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する						
施策	交通基盤の整備		—	—	—	—	
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	松山空港地域活性化基盤施設整備事業費補助金交付要綱(愛媛県)				
取組みの柱	松山空港の活性化						
目的・背景	航空機騒音により影響を被っている空港周辺地域の生活環境向上のため、都市基盤整備(区画道路整備、集会所整備、水路改修整備等)を行い、空港への理解と協力を得るとともに周辺地域の調和ある発展を図ることを目的とする。 昭和54年に第4次空港拡張事業(滑走路2,000mから2,500m(平成3年度完成))を要望したことに伴い、住民の理解と協力を得るため、地元からの要望により昭和54年度から事業が創設された。						
対象・内容	松山空港地域活性化基盤施設整備事業費補助金交付要綱に定める松山空港の周辺地域(南吉田地区の一部、東垣生地区、余戸地区の一部、西垣生地区の一部) 空港周辺地域の生活環境向上のため、都市基盤整備(区画道路整備、集会所整備、水路改修整備等)を計画的に実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	県費補助空港周辺 環境整備事業
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		108,524
予算 (千円)	事業費計	180,000	180,000	180,000			公有財産購入費	33,235	
	国費・県費	90,000	90,000	90,000					
	市債								
	その他								
	一般財源	90,000	90,000	90,000		委託料	6,004		
決算 (千円)	事業費計	138,248	156,758			主な 取組 内容 【R4】	区画道路整備事業 12路線 集会所整備事業 11施設 水路改修事業 2箇所 知事特認事業 2箇所		
	国費・県費	69,124	78,379						
	市債								
	その他								
	一般財源	69,124	78,379						
人役	正規職員	1.6	1.4	1.4		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	1.7	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備実施数		目標	32	30	38	33	地元からの要望取り下げ等による減少	
			実績	27	27				
	単年で増	箇所	達成率	84.4%	90.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	地元要望に基づき都市基盤整備(区画道路整備、集会所整備、水路改修整備等)の実施計画を定め、計画に掲げた事業がほぼ実施できた。それにより、空港への理解と協力が得られるとともに松山空港周辺地域住民の生活環境の向上が図られた。							
課題	今後も、空港周辺地域の都市基盤整備(区画道路整備、集会所整備、水路改修整備等)を行い、地域住民の生活環境向上を図る必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山空港が存続する限り継続

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	空港周辺対策管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託
33222						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—		
施策	交通基盤の整備		—	—		
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	松山空港周辺地域集会施設管理運営要綱			
取組みの柱	松山空港の活性化					
目的・背景	航空機騒音による影響の緩和及び空港と周辺地域の調和ある発展を図るため、松山空港地域活性化基盤施設整備事業(現:空港周辺環境整備事業)によって設置した集会施設等の健全な管理運営を行うことを目的とする。 航空機騒音による影響の緩和及び空港と周辺地域の調和ある発展を図るため、地元要望により整備した各地区の集会所8施設と東垣生健康増進センター、松山市東垣生市民農園及び空港フラワー公園や空港周辺第2種区域内農地等買上事業で買上げた土地の維持管理を行っている。					
対象・内容	松山空港地域活性化基盤施設整備事業整備区域(南吉田地区、東垣生地区、余戸地区、西垣生地区) 地元要望により、松山空港地域活性化基盤施設整備事業(県費補助・・・50%)で整備した集会所8施設と東垣生健康増進センター、松山市東垣生市民農園及び空港フラワー公園や空港周辺第2種区域内農地等買上事業で買上げた土地の維持管理を行っている。 松山市東垣生市民農園の除草業務は社会福祉法人日野学園指定就労継続支援B型事業所へ、また、空港フラワー公園の除草、灌水業務及び空港周辺第2種区域内農地等買上事業で買上げた土地の除草業務は松山市シルバー人材センターへ委託している。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	県費補助空港周辺環境整備事業費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	松山空港周辺騒音第2種区域内買上農地等維持管理業務委託		5,415
予算 (千円)	事業費計	9,783	9,717	9,878			集会所管理負担金		1,134
	国費・県費								
	市債								
	その他	736	12	735					
	一般財源	9,047	9,705	9,143		空港フラワー公園維持管理業務委託		523	
決算 (千円)	事業費計	8,640	9,054			主な取組 内容 【R4】	・当課が所管する松山空港周辺騒音第2種区域内買上農地等の維持管理 ・当課が所管する集会所、東垣生市民農園、空港フラワー公園の維持管理		
	国費・県費	15	19						
	市債								
	その他	791	13						
	一般財源	7,834	9,022						
人役	正規職員	0.7	0.7	0.7		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期的な巡回点検等の実施		目標	11	11	11	11	維持管理対象となる集会所と健康増進センター、東垣生市民農園、空港フラワー公園の定期的な点検を実施することができた。	
			実績	11	11				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	集会所及び健康増進センターの利用人数		目標	—	25,000	25,000	25,000	新型コロナウイルスの影響で利用人数が減少していたが、目標値の水準まで概ね利用率が回復している。	
			実績	—	23,698				
	単年で増	人	達成率	—	94.8%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり、施設等の健全な維持管理を行うことができた。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の健全な維持管理を行うことにより、空港周辺地域住民の理解を得るとともに、周辺地域の調和ある発展が図られた。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	住宅騒音防止対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金
33222						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—
施策	交通基盤の整備					
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律第8条の2(国) 住宅騒音防止対策事業費補助金交付要綱(国)			
取組みの柱	松山空港の活性化					
目的・背景	航空機騒音により影響を被っている騒音対策区域内の住宅について、住宅騒音防止工事等の費用を補助することにより、空港周辺住民の生活環境の保持、向上を図ることを目的とする。 松山空港においては、当初昭和49年11月25日に航空機騒音対策区域が指定され、その後昭和54年7月10日、昭和57年3月20日と2回の区域拡大の見直しが行われており、住宅防音工事は昭和50年度から実施している。					
対象・内容	交付先:航空機騒音防止対策区域の指定時に航空機騒音対策第1種区域(南吉田地区、東垣生地区、余戸地区、西垣生地区) 航空機騒音対策区域の指定時に、航空機騒音対策第1種区域内の現存する住宅に対し、所有者等からの申出により住宅防音工事の費用を補助しており、さらに、住宅防音工事で設置した空気調和機器等が経年劣化した際の更新工事の費用についても補助している。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	空港周辺 騒音対策費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	住宅騒音防止対策事業補 助金	4,134	
予算 (千円)	事業費計	4,865	4,834	5,504					
	国費・県費	3,608	3,338	3,803					
	市債								
	その他								
	一般財源	1,257	1,496	1,701					
決算 (千円)	事業費計	4,167	4,193			主な 取組 内容 【R4】	・空調機器更新に係る業務		
	国費・県費	2,740	2,449						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,427	1,744						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他								
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	冷暖房機更新台数		目標	34	32	34	34	空調機器更新希望台数が見込より減少のため	
			実績	20	18				
	単年で増	台	達成率	58.8%	56.3%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	空調機器更新工事を希望する方に対し、概ね要望に応えることができた。							
課題	物価の高騰や半導体不足の影響で空気調和機器の工事単価が上昇することで、予算不足が生じ、対象者への工事希望に応えられない恐れがある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国の交付要綱に基づき実施している事業であり、長年の使用による空調機器の更新を行うことにより、空港周辺地域住民の航空機騒音の障害を防止、軽減することで地域住民の環境保全を図るため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	共同利用施設管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
33222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	松山市共同利用施設条例				
取組みの柱	松山空港の活性化						
目的・背景	航空機騒音により、影響を被っている空港周辺地域住民の生活環境の保全のため、学習、集会の場として整備した共同利用施設等の健全な維持管理等を行うことを目的とする。 昭和49年6月7日に松山空港は、「公共用飛行場における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく特定飛行場の指定を受けたことから、法第6条の規定に基づき共同利用施設(騒音対策区域住民の学習や集会等ができる施設)を昭和50年から順次整備し、その後、これらの維持管理を行っている。						
対象・内容	航空機騒音対策区域(南吉田地区、東垣生地区、余戸地区、西垣生地区) 共同利用施設(騒音対策区域住民の学習や集会等ができる施設)の4施設(南吉田センター、東垣生センター、余戸西センター、余戸南センター)及び余戸中の孝集会所の健全な維持管理等を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	空港周辺 騒音対策費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	共同利用施設の光熱水費	2,322	
予算 (千円)	事業費計	3,055	3,018	4,434			共同利用施設の消防用設備保守点検外	97	
	国費・県費			0			南吉田センター施設入場者保険料	63	
	市債			0					
	その他		10	17					
	一般財源	3,055	3,008	4,417					
決算 (千円)	事業費計	2,540	2,612			主な 取組 内容 【R4】	・当課が所管する共同利用施設の維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	12	13						
	一般財源	2,528	2,599						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項			
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期的な巡回点検等の実施		目標	4	4	4	4	空港港湾課の維持管理対象となる共同利用施設の定期的な点検を実施することができた。	
			実績	4	4				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	共同利用施設の利用人数		目標	—	10,000	10,000	10,000	新型コロナウイルスの影響で利用人数が減少していたが、目標値の水準まで概ね利用率が回復している。	
			実績	—	8,332				
	単年で増	人	達成率	—	83.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり、施設等の健全な維持管理を行うことができた。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の健全な維持管理を行うことにより、空港周辺地域住民に集会、学習等の場を提供できるため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	空気調和機器稼働費助成事業補助金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
33222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する						
施策	交通基盤の整備		—	—	—	—	
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	生活保護等世帯空気調和機器稼働費補助金交付要綱(国)				
取組みの柱	松山空港の活性化		松山市住宅騒音防止対策事業による空気調和機器補助金交付規則				
目的・背景	航空機騒音による影響を防止、軽減するため実施した住宅騒音防止工事済の住宅に居住している生活保護等世帯に対し、空気調和機器(エアコン)の使用の電気料金の一部を補助することにより、生活保護等世帯の生活水準を保持することを目的とする。 国の生活保護等世帯空気調和機器稼働費補助金制度の創設を受けて、平成3年度から実施している。						
対象・内容	交付先:住宅騒音防止工事の実施済住宅に居住する生活保護等世帯 騒音対策区域内に居住する生活保護等世帯に対し、生活水準を保持するため、空気調和機器使用の電気料金の一部について補助金を支出						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	空港周辺 騒音対策費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	空調機器使用の電気料金 に対する補助金	63	
予算 (千円)	事業費計	40	40	40					
	国費・県費	34	33	33					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	6	7	7					
決算 (千円)	事業費計	44	63			主な 取組 内容 【R4】	・航空機騒音区域内に居住する生活保護受 給者等に、空調機器使用の電気料金に対 して補助金を支給する。		
	国費・県費	39	56						
	市債								
	その他								
	一般財源	5	7						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	助成金の交付件数		目標	6	7	7	7	航空機騒音区域内の生活保護受給者である申請者にすべて交付できたため	
			実績	6	7				
	単年で増	件	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	航空機騒音による障害を防止、軽減するため実施した住宅騒音防止工事済の住宅に居住している生活保護等世帯の生活水準を保持するため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国の交付要綱に基づき実施している事業であり、本事業により、生活保護等世帯の生活水準の保持が図られる。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山空港国直轄整備事業地元負担金	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
33222							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	空港法第7条				
取組みの柱	松山空港の活性化						
目的・背景	国が実施する松山空港の滑走路等の新設、改良等の事業費について、地元自治体として経費の一部負担を行い、航空機の運航の安全性の確保や空港利用者の便益性の向上を図ることを目的とする。 空港法第6条により、空港国直轄整備費用の3分の1は県が負担することとなっている。また、空港法第7条により、県は空港設置により利益を受ける市町村に負担金の一部を負担させることができることとなっており、県の要請に従い一部を負担している。						
対象・内容	国土交通省が管理する松山空港において、空港法第6条に基づき、国が、一般公衆の利用に供する目的で施工した滑走路等の新設・改良等の整備工事に係る費用を負担する愛媛県に対し、同法第7条により、地元自治体として経費の一部を負担する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	松山空港整備事業		42,557
予算 (千円)	事業費計	91,483	49,046	20,945					
	国費・県費								
	市債	82,300	44,100	18,800					
	その他								
	一般財源	9,183	4,946	2,145					
決算 (千円)	事業費計	91,359	42,557			主な 取組 内容 【R4】	松山空港整備に係る工事内容について、愛媛県及び四国地方整備局から説明を受け、費用負担に係る手続きを行った。		
	国費・県費								
	市債	82,200	38,300						
	その他								
	一般財源	9,159	4,257						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担を求められた工事費用の内容等の確認		目標	1	1	1	1	工事費用の内容確認に係る協議を予定どおり実施できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	四国地方整備局及び愛媛県から説明を受けることにより、事業内容の確認が行えたため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山空港は市内に設置されており、市として利益を受けているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	951-2149
------	-------	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	港湾施設維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営
33223						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—
施策	交通基盤の整備					
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	港湾法第12条、第34条、港湾施設管理委託契約(松山港、北条港、中島港)			
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理					
目的・背景	愛媛県から維持管理を受託している松山港(一部)、北条港、中島港及び本市管理の堀江港、西中港において、保守点検・補修工事を含む維持管理を行い、利用者の安全性・利便性の確保を図る。 松山港、北条港及び中島港は、いずれも従来から本市が維持管理を実施していたが、昭和62年4月1日に港湾施設管理委託契約により明文化され、維持管理を実施している。					
対象・内容	対象:松山港(一部)、北条港、中島港、西中港、堀江港 維持管理のための定期的な巡回点検や専門業者による保守点検を行うとともに、補修の必要な箇所があれば補修工事を行う。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	港湾施設維持管理にかかる委託料		21,874
予算 (千円)	事業費計	82,742	67,502	79,615			港湾施設維持管理にかかる光熱水費		21,308
	国費・県費	463	477	484			港湾施設維持管理にかかる工事請負費		14,198
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		82,279	67,025	79,131					
決算 (千円)	事業費計	82,743	67,261			主な 取組 内容 【R4】	・港湾施設の保守点検等(フジケンエンジニアリング(株)ほか) ・係留施設や電気設備等の補修工事		
	国費・県費	515	521						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	82,228	66,740						
人役	正規職員	3.7	4.0	4.0		特記 事項			
	その他	5.5	5.3	5.3					
	合計	9.2	9.3	9.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期的な巡回点検等の実施		目標	24	24	24	24	維持管理対象5港湾の定期的な点検を実施することができた。	
			実績	24	24				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	管理瑕疵による事故件数		目標	0	0			管理不足による事故の発生を抑えることができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市職員による定期的な巡回点検をはじめ、専門業者による定期点検を実施した上で、適切な港湾施設の修繕等を実施することで、利用者の安全性・利便性を確保することができた。							
課題	施設の老朽化や電気代の高騰等により、維持管理に係る経費が増加傾向にある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	港湾施設利用者の安全性・利便性を確保するため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	施設使用事務担当	連絡先	951-2149
------	-------	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	港湾施設使用料徴収事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
33223							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	地方自治法第252条の17の2第1項、愛媛県港湾管理条例第10条及び第15条、松山市港湾施設使用条例第7条				
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理						
目的・背景	県管理港湾で県から管理委託を受けている松山港(一部)、北条港、中島港については、愛媛県港湾管理条例に基づき、また、本市管理港湾の堀江港と西中港については、松山市港湾施設使用条例に基づき、港湾施設占用・使用料等を徴収し、港湾施設の維持管理に要する経費に対する財源の確保を図る。 松山港、北条港及び中島港は従来から本市が管理していたが、昭和62年4月1日に愛媛県の港湾施設管理委託契約により明文化され、改めて使用料の徴収を開始した。						
対象・内容	対象:松山港(一部)、北条港、中島港、堀江港、西中港 港湾利用者からの利用申請及び報告に基づき、港湾施設占用・使用料の徴収・収納を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	三津浜旅客駐車場駐車券等用紙代ほか消耗品費		100
予算 (千円)	事業費計	159	225	228			港湾施設使用料令書等郵送代		48
	国費・県費	62,592	63,825	63,411			港湾施設使用料令書等印刷代		23
	市債	0	0	0					
	その他	28,020	28,270	29,891					
	一般財源	-90,453	-91,870	-93,074					
決算 (千円)	事業費計	184	184			主な取組 内容 【R4】	・港湾施設占用等申請書の受付及び許可書の発行 ・占用料等の徴収・収納		
	国費・県費	61,443	66,677						
	市債	0	0						
	その他	29,180	31,451						
	一般財源	-90,439	-97,944						
人役	正規職員	3.7	3.8			特記 事項			
	その他	0.5	0.5						
	合計	4.2	4.3	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	申請許可業務の遅延及び 使用料等の徴収ミス		目標	0	0	0	0	迅速かつ適正な事務手続きを行うことができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	公共施設利用の対価として、公平負担の原則に基づき、適正かつ漏れのない徴収業務を実施することができた。 また、県管理港湾施設利用者から徴収した港湾施設占用料等の総額の内、6割が本市に対して港湾施設維持管理交付金として支払われ、港湾関係事業の財源となっている。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	公共施設の利用対価として公平負担の原則に基づき、漏れのない適正な徴収事務を行うため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務担当	連絡先	994-5246
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	港湾施設環境整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
33223							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備		—	—	—	—	
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	港湾法第12条、港湾法第34条、港湾施設管理委託契約(松山港、北条港、中島港)				
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理						
目的・背景	愛媛県から管理委託を受託している松山港、北条港、中島港及び本市管理の堀江港、西中港において、港湾施設等の清掃業務を実施し、環境美化を図る。 松山港、北条港及び中島港は、いずれも従来から本市が維持管理を実施していたが、昭和62年4月1日の港湾施設管理委託契約により明文化されたことから事業を実施している。						
対象・内容	対象:松山港(一部)、北条港、中島港、堀江港及び西中港 港湾施設の環境美化を図るため、船客待合所の定期的な清掃やゴミの収集運搬、松山港内海面清掃、その他港湾施設の計画的な剪定・除草作業等を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	港湾施設の環境整備にか かる委託料		14,252
予算 (千円)	事業費計	14,091	16,420	14,739			港湾海岸等清掃手数料ほか		622
	国費・県費	485	985	985					
	市債								
	その他								
	一般財源	13,606	15,435	13,754		清掃及び剪定・除草用品		99	
決算 (千円)	事業費計	12,554	14,973			主な 取組 内容 【R4】	・松山観光港施設等の清掃業務((株)三愛) ・松山観光港施設等のゴミの収集運搬処分 業務((株)愛媛ダスト) ・松山港内海面の清掃業務(山中船食(株))		
	国費・県費	985	1,054						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	11,569	13,919						
人役	正規職員	0.7	0.8			特記 事項			
	その他	1.0	1.0						
	合計	1.7	1.8	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期的な清掃・ゴミ収集 及び計画的な清掃		目標	5	5	5	5	船客待合所の定期的な清掃及びゴミ収集、 その他港湾施設の計画的な剪定や除草等 を行うことができた。	
			実績	5	5				
	現状維持	港湾	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	各港湾の環境美化を図ることにより、港湾利用者はもとより、周辺住民にとっても安全で快適な環境を提供することができた。							
課題	清掃業務など委託業務に係る労務単価の上昇により、港湾施設の環境整備にかかる経費が高騰している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各港湾の環境美化を図るため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	951-2149
------	-------	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市営上屋維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
33223							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	港湾法第12条、第34条、松山市港湾施設使用条例第7条				
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理						
目的・背景	松山市経済圏における海上交通の振興のため、港湾用地に貨物の一時保管のための施設(上屋)5棟及び旅客待合所1棟を本市が設置しており、これらの施設の適正な管理を行い、施設の維持管理を図る。 昭和43年に市営上屋が建設されたことによる。						
対象・内容	対象:市営上屋5棟と旅客上屋1棟を利用する民間企業及び旅客 維持管理のための定期的な巡回点検を行うとともに、補修の必要な箇所があれば補修工事を行う。 また、上屋利用者からの利用申請に基づき、使用料の徴収を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	市営上屋にかかる光熱水費		2,701
予算 (千円)	事業費計	9,411	7,807	9,374			市営上屋にかかる工事請負費		2,482
	国費・県費	0	0	0			市営上屋占用料等		1,242
	市債	0	0	0					
	その他	14,195	13,466	14,159					
	一般財源	-4,784	-5,659	-4,785					
決算 (千円)	事業費計	9,185	7,524			主な 取組 内容 【R4】	・市営上屋の扉レール等の補修工事 ・上屋使用申請書の受付及び許可書の発行、使用料の徴収		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	13,627	13,267						
	一般財源	-4,442	-5,743						
人役	正規職員	0.4	0.2			特記 事項			
	その他	0.3	0.3						
	合計	0.7	0.5	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期的な巡回点検等の実施		目標	24	24	24	24	維持管理対象上屋の定期的な点検を実施することができた。	
			実績	24	24				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	管理瑕疵による事故件数		目標	0	0	0	0	管理不足による事故の発生を抑えることができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市職員による定期的な巡回点検を実施した上で、適切な修繕を行うことで、利用者の安全性・利便性を確保することができた。また、上屋の民間へ貸付けにより、港湾の物流面の利便性の向上が図られ、このことにより地域の経済発展に寄与出来ている。							
課題	老朽化に伴う維持管理費が増加傾向にある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	上屋利用者の安全性・利便性を確保するとともに、地域経済の発展に寄与していくため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山港国直轄整備事業地元負担金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
33223							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	港湾法第52条第1項及び第2項、第43条の4、愛媛県港湾管理条例第17条				
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理						
目的・背景	松山港の背後圏である松山港外港地域が、平成5年3月にFAZ(輸入促進地域)に指定され、愛媛県により港湾整備計画の見直しが行われることとなったことを契機とし、物流拠点としての施設の充実を図り、産業の発展に寄与するため、国により、コンテナ船や石炭バルク船等の大型化に対応した港湾の整備が実施されることとなった。						
対象・内容	重要港湾である松山港において、国が、一般交通の利便の増進等を図るため施工した港湾工事について、港湾法に基づき港湾管理者として経費を負担する愛媛県に対し、地元自治体として愛媛県港湾管理条例に基づき経費の一部を負担する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	外港地区国際物流ターミナル整備事業		89,898
予算 (千円)	事業費計	93,654	90,134	90,134					
	国費・県費								
	市債	84,200	81,100	81,100					
	その他								
	一般財源	9,454	9,034	9,034					
決算 (千円)	事業費計	93,478	89,898			主な 取組 内容 【R4】	愛媛県港湾管理条例により、愛媛県施工の改修、改良等の事業に対する経費の一部を負担するため、該当事業について確認するとともに、所定の手続きに基づき負担した。		
	国費・県費								
	市債	84,100	80,900						
	その他								
	一般財源	9,378	8,998						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担を求められた工事費用の内容等の確認		目標	1	1	1	1	工事費用の内容確認に係る協議を予定どおり実施できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	愛媛県から説明を受けることにより、事業内容の確認が行えたため。							
課題	特に無し					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	本市の発展のため、経費負担の意義がある と考えるため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	県営・港湾海岸整備事業地元負担金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
33223							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	広域拠点となる交通基盤を整備する		—	—	—	—	
施策	交通基盤の整備						
主な取組	広域な交通ネットワークの充実	根拠法令	港湾法第43条の4、海岸法第28条、愛媛県港湾管理条例第17条				
取組みの柱	港湾施設の整備と維持管理						
目的・背景	愛媛県が管理する港湾(松山港・北条港・中島港)について、港湾施設の機能維持、また、高潮や波浪等による被害からの防護を図るため、県が施工する新設・改良等の工事に要する経費の一部負担を行う。						
対象・内容	愛媛県が、港湾施設の新設又は改良工事、岸壁・物揚場等の新設工事に伴う背後地造成工事に要した経費について、愛媛県港湾管理条例の規定に基づき、地元負担金として支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	由良栈橋浮栈橋更新		93,333
予算 (千円)	事業費計	65,449	199,147	-			外港地区施設整備	18,753	
	国費・県費			-					
	市債	14,900	134,900	-					
	その他			-					
	一般財源	50,549	64,247	-					
決算 (千円)	事業費計	63,718	197,810			主な 取組 内容 【R4】	愛媛県港湾管理条例により、愛媛県施工の新設、改良等の事業に対する経費の一部を負担するため、該当事業について確認するとともに、所定の手続きに基づき負担した。		
	国費・県費								
	市債	14,900	134,900						
	その他								
	一般財源	48,818	62,910						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担を求められた工事費用の内容等の確認		目標	1	1	1	1	工事費用の内容確認に係る協議を予定どおり実施できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	愛媛県から説明を受けることにより、事業内容の確認が行えたため。							
課題	松山港、北条港、中島港の港湾施設は老朽化が著しいため、愛媛県に対し改良工事を要望しているが、対応が遅れている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民の安全安心のため、経費負担の意義があると考えするため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	空港港湾課	担当G	総務担当	連絡先	994-5245
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・海の路ネットワーク推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
62132							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地方分権社会を推進する		—	—	—	—	
施策	地方分権・地方創生に対応する体制の整備						
主な取組	多様な地域との連携強化	根拠法令	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会要綱、同会計規則				
取組みの柱	広域連携の推進						
目的・背景	瀬戸内海沿岸の県及び市町村で、瀬戸内海沿岸独自の歴史、文化、自然を活かし、地域相互の連携を図りながら地域づくりを考え、実施することにより瀬戸内海海域全体のさらなる振興と発展につなげる。また、災害時には海の路を介した連携により会員相互に救援・協力し、災害時での活動の円滑な遂行を図る。 平成3年に「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」が設立されたことによる。						
対象・内容	対象:瀬戸内沿岸の各県及び市町村の118会員(11府県、107市町村) 瀬戸内・海の路ネットワークや瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が開催する総会等での近隣各県・市町の情報収集や意見交換を通じ、瀬戸内海海域全体のさらなる振興と発展、併せて本市の魅力発信を行う。 また、瀬戸内海海岸における清掃活動及び瀬戸内海各地の史跡マップの作製等により、瀬戸内海地域の連携を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	港湾費	目	港湾管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	瀬戸内・海の路ネットワーク 推進協議会担当者会出席に 伴う普通旅費		33
予算 (千円)	事業費計	151	153	158			瀬戸内・海の路ネットワーク 推進協議会分担金		30
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		151	153	158					
決算 (千円)	事業費計	30	63			主な 取組 内容 【R4】	・瀬戸内・海の路ネットワーク活かした近隣 各県・市町の情報収集及び発信 ・瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会担 当者会への出席(情報収集、意見交換)		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	30	63						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	総会等への出席による情報収集及び意見交換		目標	3	3	3	3	新型コロナウイルス感染症の観点から総会外1件の参加を見合わせたため。	
			実績	0	1				
	現状維持	回	達成率	0.0%	33.3%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	瀬戸内・海の路ネットワークや推進協議会が開催する担当者会での近隣各県・市町の情報収集や意見交換を行うことで、瀬戸内海海域全体の振興と発展、併せて本市の魅力発信を行うことができた。 また、瀬戸内海海岸における清掃活動及び瀬戸内海各地の史跡マップの作製等により、瀬戸内海地域の連携に資することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	瀬戸内・海の路ネットワークを活かし、本市の魅力発信、環境美化及び防災体制の向上を図っていくため。